

# ごのへ 議会 会だより

Gonoh Assembly News

議会広報  
平成28年11月  
第21号

第7回定例会(平成28年9月定例会)

議案等の審議 … 2 平成27年度決算 … 4 決算特別委員会 … 6 一般質問(4人) … 9 所管事務調査 … 13

防災訓練 平成28年10月16日 旧又重小学校



## 第5回 平成28年7月 臨時会

7月6日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 2件			
原案可決	同意	承認	認定
1件	0件	1件	0件

町長提出案件

専決処分の承認 1件

●損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定

・町道の段差が原因による  
 自家用車タイヤパンク  
 1万2千円

工事請負契約の締結 1件

●町道新町二本柳線二本柳橋橋梁補修工事  
 ・大山建工・野村組特定建設工事共同企業体  
 1億800万円

審議の結果

全員賛成で可決

## 第6回 平成28年8月 臨時会

8月2日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 2件			
原案可決	同意	承認	認定
2件	0件	0件	0件

町長提出案件

工事請負契約の締結 2件

●町営住宅ひばり野団地建設(9工区)

・東北産業・野村組特定建設工事共同企業体  
 1億2636万円

審議の結果

全員賛成で可決

●旧豊間内小学校改修工事(資料館へ改修)

・大西・大一特定建設工事共同企業体  
 1億3716万円

質 川村浩昭議員

検討と説明が十分とは思えないが。

答 佐々木教育課長

これまでの検討結果を設計に反映させている。ご理解願いたい。

審議の結果

賛成11人・反対4人・欠席2人

賛成多数で可決

## 第7回 平成28年9月 定例会

9月8日から14日までの7日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 16件			
原案可決	同意	承認	認定
14件	0件	0件	2件

町長提出案件

報告 3件

●平成27年度青森県新産業都市建設事業団の決算について

●平成27年度決算に基づく財政の健全化判断比率について

●平成27年度公営企業決算に基づく経営の資金不足比率について

条例の制定 1件

●五戸町ふるさと納税寄附金基金条例の制定  
 ・適正に管理及び運用することを制定

条例の一部改正 1件

●五戸町職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部改正

・夜間看護手当支給者変更のため改正

審議の結果

全員賛成で可決

補正予算 8件

●一般会計補正予算 (第3号)

・補正額(増額) 3億2763万1千円  
・予算総額(補正後) 93億5594万円

主な内容  
・病院事業会計負担金 2億6616万5千円

●後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額) 117万3千円  
・予算総額(補正後) 4億2040万6千円

主な内容  
・臨時事務員賃金 97万1千円

●介護保険特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額) 268万5千円  
・予算総額(補正後) 22億3117万7千円

主な内容  
・介護計画策定経費 186万6千円

●下水道事業特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額) 606万3千円  
・予算総額(補正後) 4億845万5千円

主な内容  
・詳細設計業務委託料 596万6千円

●農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額) 291万7千円  
・予算総額(補正後) 1億1586万1千円

主な内容  
・管路施設工事費 151万2千円

●簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額) 6千円  
・予算総額(補正後) 1億5409万6千円

主な内容  
・土地借上料 6千円

●ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)

・補正額(増額) 185万円  
・予算総額(補正後) 2826万4千円

主な内容  
・光ケーブル引込工事費 185万円

●病院事業会計補正予算(第1号)

・収益的収入 2億3206万9千円  
増の29億5355万円

主な内容  
・一般会計からの繰入金 690万3千円増の29億4732万8千円

●追加工事費

施設内機械修繕費  
・資本的収入 企業債1800万円、出資金3409万6千円を追加し2億5787万5千円

主な内容  
・土地借上料 6千円

●資本的支出

建設改良費1825万2千円を追加し4億4380万4千円

●審議の結果

全員賛成で可決  
認定 2件  
平成27年度五戸町一般会計・特別会計歳入歳出決算  
平成27年度五戸町病院事業会計決算

●審議の結果

全員賛成で認定  
※審議内容は別ページに掲載

●追加提出案件

損害賠償額の決定 1件  
損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定

・台風10号により町が所有する木の枝が折れ小屋の屋根を破損 35万7千円

●工事請負契約の締結 1件

ひばり野公園陸上競技場管理棟改修工事 (株)大山建工 6631万2千円

●条例の制定 1件

五戸町職員の退職管理に関する条例の制定  
職員の退職管理に関することを制定

●補正予算 1件

一般会計補正予算 (第4号)  
・補正額(増額) 2499万2千円  
・予算総額(補正後) 93億8093万2千円

●補正予算

災害復旧費 2042万1千円

●人事 2件

表彰審議会委員の指名  
●松山泰治 議員  
●大沢義之 議員  
●古田陸夫 議員

●選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

●金澤孝吉氏 (79歳)  
●江戸正治郎氏 (82歳)  
●齋藤正榮氏 (69歳)  
●小泉壮悦氏 (68歳)

●補充員

●種市聡氏  
●佐々木昭彦氏  
●根岸英治氏  
●太田博之氏

# 平成27年度決算

## <財源構成>

自主財源 21.0% (町税など)	依存財源 79.0% (地方交付税など)
-------------------------	----------------------------

### 各会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引	
一般会計	94億3686万円	91億2562万円	3億1124万円	
特別会計	後期高齢者医療	4億4176万円	4億4004万円	172万円
	国民健康保険	29億143万円	27億9938万円	1億205万円
	介護保険	23億2756万円	22億2411万円	1億345万円
	下水道事業	3億9118万円	3億8723万円	395万円
	農業集落排水処理施設事業	1億893万円	1億762万円	131万円
	簡易水道事業	9609万円	9354万円	255万円
	住宅用地造成事業等	1500万円	873万円	627万円
	ケーブルテレビ事業	2756万円	2524万円	232万円
病院事業会計	収入	支出	差引	
収益的収支	27億909万円	26億9683万円	1226万円	
資本的収支	2億8573万円	4億6710万円	△1億8137万円	

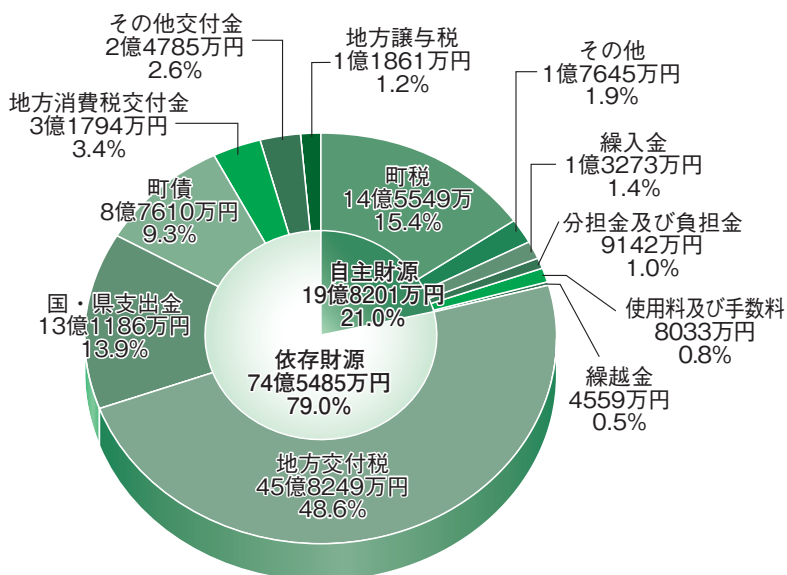
平成27年度決算状況

一般会計の自主財源である町税や使用料などは21・0%となっており、地方交付税や町債などの依存財源が79・0%を占め、町財政の多くが国や県からのお金(交付税・支出金・交付金と借金(町債)に頼っています。

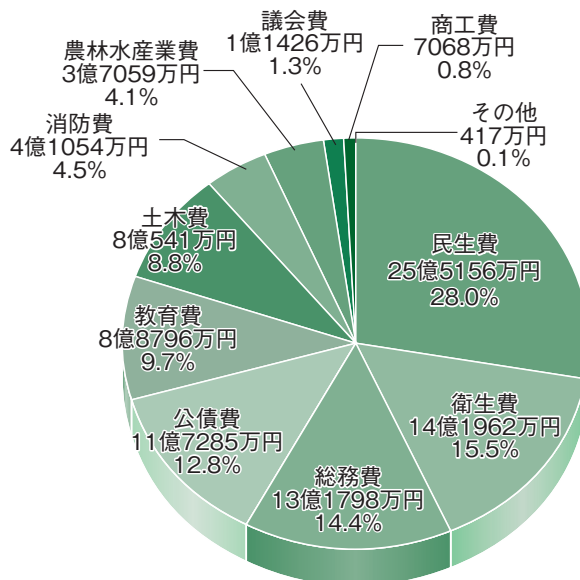
また、歳出の人件費や公債費(借金返済)などの義務的経費は、歳出全体の38・6%を占め、前年度に比べ4千972万円の減額となりました。

## 一般会計決算

### 歳入



### 歳出



## 町税等の未収金の状況

区 分	26年度末	27年度末	増減額
町税*	1億3500万円	1億2455万円	△ 1045万円
保育料負担金	68万円	37万円	△ 31万円
五戸台地負担金	706万円	485万円	△ 221万円
給食費保護者負担金	239万円	247万円	8万円
ブドク放牧場使用料	148万円	173万円	25万円
町営住宅使用料及び共益費	136万円	89万円	△ 47万円
土地貸付料	417万円	407万円	△ 10万円
奨学資金償還金	955万円	864万円	△ 91万円
後期高齢者医療保険料	242万円	561万円	319万円
国民健康保険税	1億9904万円	1億8347万円	△ 1557万円
介護保険料	470万円	421万円	△ 49万円
下水道受益者負担金・使用料	817万円	780万円	△ 37万円
農業集落排水分担金・使用料	246万円	253万円	7万円
簡易水道使用料	649万円	709万円	60万円
ケーブルテレビ負担金・利用料	115万円	157万円	42万円
合 計	3億8612万円	3億5985万円	△ 2627万円

**未収金(滞納)総額**  
3億5985万円

平成27年度末の未収金は、3億5985万円で、町税と国民健康保険税で85・6%を占めています。

また、前年度末に比べ2627万円少なくなっていますが、そのほとんどが不納欠損処分によるものです。

**不納欠損処分とは**

滞納者が死亡し相続人もいない、行方不明などの理由で滞納分の徴収ができなくなった場合、その金額を消滅させること。

\*町税は、町民税・固定資産税・軽自動車税の合計額  
※翌年度繰越分及び未還付額は除く

## 町債(借金)の状況

会 計 名	27年度末
一般会計	109億5639万円
下水道事業特別会計	27億 269万円
農業集落排水処理施設事業特別会計	8億4378万円
簡易水道事業特別会計	2億2003万円
五戸町病院事業会計	31億7773万円
合 計	179億 62万円
町民1人当たり	99万円

**町債**

町財政の借金である町債合計は、179億62万円です。前年度に比べて7億6114万円減額となりました。

**「借金 町民1人99万円」**

**基金**

一方、貯金である基金合計は、36億1788万円です。前年度に比べて1億6609万円増加となりました。

**「貯金 町民1人20万円」**

## 基金(積立金)の状況

基 金 名	27年度末	基 金 名	27年度末
財政調整基金	16億3922万円	肉用牛一貫経営支援基金	506万円
減債基金(地方債償還のための積立)	4億2918万円	地域振興基金	10億7707万円
土地開発基金	1億4569万円	高齢者等肉用牛特別導入事業基金	400万円
泉山教育振興基金	57万円	過疎地域自立促進特別事業基金	1億2804万円
木村秀政教育振興基金	182万円	国民健康保険特別会計財政調整基金	1975万円
公共施設等整備基金	41万円	国民健康保険高額療養費貸付基金	509万円
まちづくり特別事業基金	251万円	介護給付費準備基金	7045万円
地域福祉基金	90万円	下水道整備基金	2533万円
江渡恭助人材育成基金	145万円	農業集落排水事業減債基金	228万円
人材育成基金	3127万円	ケーブルテレビ事業基金	2779万円
		合 計	36億1788万円

※現金・貸付金の額(動産・不動産は含まない)

# 決算特別委員会

議員全員で構成する決算特別委員会(委員長：大沢義之議員、副委員長：鈴木隆也議員)を設置し、平成27年度の一般会計決算、特別会計決算及び病院事業会計決算について審査しました。  
※委員会では議員のことを「委員」と呼びます。



大沢義之委員長

## 主な質疑

### 一般会計歳入

#### 未収金について

問三浦專治郎委員

未収金を減らす方策は。

答金子税務課長

県の滞納整理機構との連携により、少しずつではあるが改善はしている。今後も努力していく。

問三浦專治郎委員

ブドロク放牧場使用料の未収金は減ったか。

答畑山農林課長

昨年より増えたが、滞納者には少しずつでも納付していただいている。

問豊田孝夫委員

五戸台地の未収金の対応と利用状況は。

答畑山農林課長

未収金については町で納付のお願いに歩いている。台地については利用されていないところもある。

### 五戸台地について

問高山浩司委員

消防団加入促進モデル事業とは。また、がん検診受診率アップ推進事業とは。

### 補助事業について

問高山浩司委員

消防団加入促進モデル事業とは。また、がん検診受診率アップ推進事業とは。

問佐々木総務課長

消防団加入促進モデル事業は県の補助事業に採択されたもので、サバイバルin小渡平と称して小渡平公園で高校生等と災害模範訓練を行い、消防団加入促進を図った。

答鈴木福祉保健課長

がん検診受診率アップ推進事業は県の補助事業を活用し、パンフレット等を配布してがん検診受診を呼びかけた。

### 斎場使用料について

問三浦俊哉委員

亡くなる方が減っていないのに、斎場使用料が減った理由は。

答酒井住民課長

町内の方の使用はほぼ同じであったが、他町村の方の使用が減ったことによる。

### 公民館使用料について

問川村浩昭委員

公民館使用料の内訳は。

答佐々木教育課長

大ホール使用料が全体の4割を占めている。他の部屋別の統計はとっていない。また、大ホール使用回数減により、前年度比で22万3000円の減額となっているため、増やすことを考えたい。

### 一般会計歳出

#### 行政連絡員謝礼について

問松山泰治委員

行政連絡員謝礼の内訳は。

答佐々木総務課長

63各自治会へ、規模割として1〜49世帯は2万円、以後50世帯増すごとに2千円の追加及び世帯割として1世帯550円。

要望 松山泰治委員

増額を検討して頂きたい。

#### 空き家について

問高山浩司委員

空き家調査等業務委託の結果は。

答佐々木総務課長

リフォームすれば住めるような空き家が194件あるとの調査結果である。今後この調査結果を基に対策を進めていくことになる。

## デザインバックパネルについて

**問** 高山浩司委員  
デザインバックパネルとは。

**答** 佐々木総務課長  
副町長室の壁に歴史未来パークをデザインしたバックパネルを設置した。記念撮影などの際にはその前で行うもの。

## 中間サーバーについて

**問** 高山浩司委員

中間サーバー・プラットフォーム利用負担金とは。

**答** 小村企画振興課長

マイナンバー制度に伴う中間サーバーのセキュリティの強化を実施したものだ。

## 町税過誤納還付金及び返還金について

**問** 三浦專治郎委員  
町税過誤納還付金及び

加算金並びに町税過誤納返還金及び加算金とは。

**答** 金子税務課長

法人及び個人の確定申告による差額を還付及び5年経過したものについて返還するもの。

## 国土利用計画について

**問** 川村浩昭委員

国土利用計画策定業務委託料とは。

**答** 小村企画振興課長

平成37年度を目標年次として町土の利用計画を策定したもの。

## ふるさと納税システムについて

**問** 川村浩昭委員

ふるさと納税システム開発・画面作成委託料は今後も発生するののか。

**答** 小村企画振興課長

開発作成が終わり今年度6月から運用が開始されているが、今後、相違な変更がない限りは発生しない。

## 町有林について

**問** 川村浩昭委員

町有林育成費の内容は。

**答** 畑山農林課長

人夫賃として、倉石地区の町有林は面積が大きいため1人を非常勤職員として雇用して支払ったものと、町有林の作業道の刈り払い等で臨時に雇用した際に作業員に支払ったもの。看守人謝礼は、五戸地区5人の看守人謝礼として面積にに応じて年払いしている。町有林育成業務委託料は、平成27年度は倉石地区又重前田内沢地内の間伐作業を三八地方森林組合に委託し行った。

## 負担金・補助金及び交付金について

**問** 高山浩司委員

五戸まちあるき事業費補助金とは。

**答** 小村企画振興課長

五戸まちあるきガイドの育成研修費用及びガイド

ドのユニホーム、マップ、PRグッズ等の製作費用に補助を行った。

**問** 高山浩司委員

ものづくり事業費補助金とは。

**答** 沢向地方創生推進室長

2社に試作品製作費用及び販売開拓費用への補助を行った。

**問** 高山浩司委員

低所得者等向け商品購入助成金及び灯油購入助成金の内容は。

**答** 鈴木福祉保健課長

町民税非課税世帯を対象に商品券2500円を2043世帯に、また、同じく灯油券3000円を1550世帯に交付した。

## AEDについて

**問** 大沢博委員

AEDの管理は。

**答** 佐々木総務課長

設置されている施設の責任者が管理する。電池やパッド等耐用年数があ

るため管理を徹底させた。い。

## 災害時用電話について

**問** 豊田孝夫委員

災害時に使用できる電話の内訳は。

**答** 佐々木総務課長

災害時優先携帯電話として、総務課、公民館、3支所及び五戸消防署に1台ずつ設置。災害時用衛星携帯電話として総務課に1台設置している。

## プールについて

**問** 鈴木隆也委員

プールの監視体制は。

**答** 佐々木教育課長

町民プール及び五小プールの監視員として高校生19名、一般の方2名の計21名を採用し監視にあたった。

## 学校給食について

**要望** 尾形裕之委員

学校給食に使用されて

いる食材に地元産の食材が何割程度使用されているかなど常に把握して、地産地産を強力に進めて頂きたい。

## スポーツ活動について

**問** 大沢博委員

スポーツクラブ育成事業補助金とは。

**答** 佐々木教育課長

スポーツ振興公社で行っている各競技の事業に対し補助している。例えば手倉森浩氏によるサッカー教室開催費用等である。

**問** 大沢博委員

町スポーツ少年団本部補助金とは。

**答** 佐々木教育課長

スポーツ少年団本部で行っているスポーツ少年団育成指導事業に対し補助している。

**要望** 大沢博委員

町スポーツ少年団本部補助金の増額を検討して頂きたい。

## 下水道事業 特別会計

### 説明会について

【問】高山浩司委員

事業を進めるにあたり住民説明会などは行っているのか。

【答】山下建設課長

地区別に事前に説明会を行っている。なお、ひばり野地区はこれから行う。

## 病院事業会計

### 医師数について

【問】尾形裕之委員

医師を増やすと収益が増えるのか。

【答】三浦町長

ある程度までは増えるかもしれないが、患者数にも限りがあるため、医師を増やしたからといって収益が増えるとは言えない。

規模の縮小も考えていかなければならない。

### 平成27年度決算に基づく財政の健全化判断比率の結果

	①実質赤字比率 主に一般会計でどれくらい の赤字があるか %	②連結実質赤字比率 町全体（一般会計、 特別会計、病院事業 会計）でどれくらい の赤字があるか %	③実質公債比率 借金の返済にどれく らい支払っているか %  【3カ年平均】	④将来負担比率 将来一般会計から負 担されると想定され る金額がどれくらい 見込まれるか						
早期健全化基準	14.29以上	19.29以上	25.0以上	350.0以上						
財政再生基準	20.00以上	30.00以上	35.0以上							
<b>五戸町</b>	<b>赤字なし</b>	<b>赤字なし</b>	<b>12.1</b>	<b>57.1</b>						
備 考	赤字はありませんでした。	赤字はありませんでした。	前年度に比べ2.0 ポイント減少。	前年度に比べ8.5 ポイント減少。						
	早期健全化基準の基準値を超えた場合、財政健全化団体として自主的・計画的な財政の健全化が求められ、さらに悪化すると財政再生基準で審査される。									
実質公債比率の推移 【単年度】	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
	24.7	24.9	24.4	21.5	19.2	18.4	16.4	13.6	12.3	10.6

## 平成28年9月定例会（9/8～14）

### 議会傍聴者アンケート結果

傍聴者数：延べ11人・回答者数：11人

○あなたの性別は？【男性9人】・【女性2人】

○あなたの年齢は？  
【30歳代1人】・【40歳代1人】・  
【50歳代2人】・【60歳代4人】・【70歳代3人】

○議会を傍聴したことがありますか？  
【初めて8人】・【1、2回1人】・【3～5回2人】

○五戸ちゃんねるで五戸町議会の一般質問を放送していますが、見たことがありますか？  
【ある6人】・【ない5人】

○ごのへ議会だよりを発行していますが、ご覧になっていますか？  
【毎号5人】・【ときどき4人】・【見ていない2人】・【知らなかった1人】

○議会に対する意見や要望など

- ・傍聴者が少ないのでもっと広報した方がいいのでは。
- ・言葉が聞きとれない時があるので、もっとはっきり、ゆっくりとした発言を望む。
- ・議会報告会や住民懇談会を開催しては。
- ・議会だよりは他の優れた自治体を参考にして、さらに住民に読まれる広報紙を目指してほしい。





# 一般質問

9月定例会では4人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。



鈴木 隆也 議員

## ◆まちの駅建設地は決定したか

町長 まだ決定していない

### 質問

五戸町地方創生まちづくり推進協議会で、まちの駅整備事業についてどのような話し合いが行われ、意見集約できたか。

### 答三浦町長

4回の集まりを持ち、他地域のまちの駅視察や、実際に中心商店街を歩き、建設場所選定の話し合いをしたが、意見集約には至っていない。なお、5回目の会議から、話し合いの内容を町ホームページに掲載する。

### 質問

町長ご自身は、現段階で建設地はどこが望ましいと考えているか。

### 答三浦町長

図書館敷地がいいのではと考えている。並んで代官所と庭園があるが、多額な設備投資をして作った割には、利用者が少ない。まちの駅をそこに建設することで、利用者を増やすとともに、まち歩き観光の拠点になるのではないかと考えている。

### 質問

中心商店街の活性化を図るために、まちの駅建設を核とした包括的な構想は。

### 答三浦町長

五戸町商工会から、空き店舗調査を行い、新しくお店を始める方へ紹介等を行う考えがあると聞いている。商工会、観光協会と連携し、まちの駅を訪れた人が、中心商店街を回遊したくなるようなまちづくりに取り組む。

### 質問

中心商店街を貫く県道113号の歩道整備はできないものか。

### 答山下建設課長

県に要望し、なんとか整備したい。

## ◆福祉のまちづくりの進捗状況は

町長 バリアフリー化など既設施設も整備を行っている

### 質問

福祉のまちづくりを謳(うた)い、高齢者や障がい者等が利用しやすい施設整備や道路整備を進めるとしているが、進捗状況と今後の計画は。

### 質問

役場本庁舎の多目的トイレにベビーベットや温水洗浄便座が整備されていないが、整備する考えはあるか。

### 答佐々木総務課長

順次、整備したい。また、身障者等用の駐車スペースを、より利便性の良い場所へ新設することになっている。



歴史みらいパーク





高山 浩司 議員

◆日本国憲法の教育の現状は

教育長 学習指導要領に基づいて指導している

**質問** 昨年、平和安全法制に関して、10代から20代前半の学生グループ(シールズ)が、国会議事堂前で「戦争法案反対」と叫んで反対デモを行っていた。これからの日本を担う彼らの様な若い人たちが政治や憲法に関心を持つことは、大変良いこと

だと思うが、憲法に基づいて民主的な選挙で選出された国会議員が成立させた法律を、法的拘束力のないデモの訴えで覆そうという行動こそ、日本国憲法のあり方を根本的に否定する行為だと思つて、学校での日本国憲法の教育の現状は。

**答 高橋教育長**

日本国憲法は、国家や国民生活の基本を定めている。そして、我が国の民主政治は、日本国憲法の基本的考え方に基づいている。これらの事を、学習指導要領により、小学校は6学年から、生活にかかわりながら憲法とのかかわりを身に付けさせる方法を取っている。中学校では3学年からより詳しく学んでいる。

**質問**

自衛隊の存在は、最初から憲法九条の解釈で成り立っていると思うが、その辺りの教育はどのようになっているのか。

**答 高橋教育長**

自衛隊の存在と、憲法の平和主義との関連において意見が分かれていることを教えている。

**質問**

先の参議院選挙の結果、憲法改正の現実味が以前よりも増えた。そのような状況の中、小・中学校での、憲法教育の重要性を高めていく必要があると思うが。

**答 高橋教育長**

憲法改正の是非ではなく、憲法改正についての手続きについて、概念的、思想的にならないよう注意しながら教え、また、なぜそのような議論がされているのか説明をしなければならぬと考えている。



◆給付型奨学金についての町の考えは

教育長 必要な制度である

**質問**

意欲と能力があるにもかかわらず、家庭の経済的理由により自分が希望する高校、大学に進学できない、または進学そのものをあきらめなければならぬ状況というのは、その家族にとっても、国家にとっても大きな損失だと思つて、そのような観点から考えると、奨学金制度は大変重要だと思つて、五戸町での、近年の奨学金の貸し付け状況と返済状況はどのようになっているのか。

**質問**

給付型奨学金について町としてはどのような見解を持っているか。

**答 高橋教育長**

条件面など、難しい課題もあるが、必要な制度だと考えている。国の検討チームの結論が制度化され、多くの若者が進学により希望ある未来が切り開かれる社会となることを望んでいる。

**答 佐々木教育課長**

貸付者数は64人で、月額計241万円を貸し付けている。貸付者数は、平成24年度16人、平成25年度24人、平成26年度20人、平成27年度14人、平

# 一般質問



川崎 七洋 議員

## ◆ふるさと納税&お買い物もの市場の広報活動は

町長 「東京ハイジ」さんと

コラボを考えている

### 質問

- 今年6月20日に「五戸町ふるさと納税&お買い物もの市場」がオープンしたが、
- ① 現在までの訪問者数は。
  - ② 利用者登録の実績件数は。
  - ③ その中で寄附は何名か。

### 答 三浦町長

- ① 訪問者数1045件。
- ② 利用者数15件。
- ③ 寄附は4件で18万円。

### 質問

広報活動はどのように実施しているのか。

### 答 三浦町長

町内外のイベント及びお盆時期に合わせてパンフレットを配布している。過去に寄附をいただいた方にも郵送している。今は「東京ハイジ」さんとコラボを考えている。

### 「東京ハイジ」

子供向けの動画を手掛ける五戸町出身の動画クリエイター(制作者)。  
姉ササキトモコさんと妹ササキワカバさんの姉妹で、現在は神奈川県に在住。

### 要望

東京などの大都市圏での広報活動は特に行っていないようだが、大都市での「ふるさと納税フェスタ」等のイベントへの参加も検討していただきたい。

### 質問

控除額といただいた寄附額は包括的に見る必要がある。昨年度はいくらの控除を行ったか。また、目標300万円というのは低すぎるのではないか。

### 答 三浦町長

控除は89件、141万4456円。目標を上回るよう努力していく。

## ◆まちひとしごと創生総合戦略の住民協議会には新しい顔ぶれを

町長 ぜひ参加して頂きたい

### 質問

- 昨年度制定した「五戸町まちひとしごと創生総合戦略」の進捗状況で、
- ① 施策3のご当地カードはいつ頃開始予定か。
  - ② 施策7のものづくり支援事業の実績は。
  - ③ 施策10の移住相談ほどのくらいのペースか。

### 答 沢向地方創生推進室長

- ① 平成30年度を中途にしているものの、関連各所と協議次第では延期の可能性はある。
- ② 平成27年度に2社13件。販売路開拓は6件。
- ③ 今年7月に東京で実施。今年度は11月と1月に計画している。

### 質問

施策22の定住自立圏から連携中枢都市圏になることで、町民目線で何がどう変わるのか。

### 答 小村企画振興課長

医療、子育て支援、就職支援、観光振興、農業支援、移住促進、結婚支援など多岐に渡り住民の皆様之恩恵をもたらす場面が沢山出てくると考えている。

### 質問

施策21の住民協議会は、今までにない顔ぶれを揃えるべきだと考えるが。

### 答 三浦町長

新しいものを考える会であるので、公募には若い方々や女性の方々にもぜひ参加して頂きたい。



豊田 孝夫 議員

◆中山間地域の農地の活用は

町長 研究が必要

質問

中山間地域の農地の活用について、特に耕作に不利な条件の山間地にある農地に対し、町独自の助成制度を創設しては。

答三浦町長

農業従事者の減少という大きな問題もあり、町独自の制度を作るのは容易ではないが、今後は農業委員会、農協等関係機関と連携をとりながら共同で研究が必要と思う。



質問

五戸町に農地として登録されている水田、畑の面積及び、耕作放棄地（遊休農地）の水田、畑の面積は。また、占める割合は。

答 齊藤農業委員会事務局長

農地面積は全体で5149ha。そのうち水田2239ha、畑2910ha。遊休農地で再生可能な農地は水田0.3haで0.01%。畑は67.2haで2.31%。また、再生困難な農地は水田はなし、畑は82haで2.82%となっている。

質問

耕作放棄地に至る原因には何が考えられるか。

答 三浦農業委員会会長

農家の高齢化と農業従事者の絶対数の減少傾向による担い手不足が考えられる。また、農地中間管理機構でも農地の賃貸借を進めているが思うように進まない。

質問

耕作放棄地を減らす方策として町ではどのような制度を活用することが効果的であると考えているか。

答 三浦農業委員会会長

農地利用最適化推進委員の新設により、地域の実情に合った農地利用を進めることができるようになり、農業委員と連携して遊休農地の発生防止に取り組みことが出来るのではないかと考えている。

質問

農地中間管理機構の利用状況は。

答 畑山農林課長

貸し手は80人、借り手は60人程度。貸し手は田んぼが多く、借り手は畑の大きな面積を望んでいるが、畑は条件の悪い所を貸し出している。

質問

耕作に不利な条件の山間地にある田畑に対し、現在行われている中山間地域等直接支払制度以外に町独自の助成制度を考える必要があると思うか。

答 三浦町長

全国どこの地域でも有効な対策は講じられていない。町独自の助成については、青年就農給付金を受給している方で、5年間経過後で軌道に乗っていない方でも更に3年間に渡って助成出来る制度を設けている。

質問

中山間地域等直接支払制度の説明会は。

答 畑山農林課長

地域を廻って行っているが、その際、畑でも対象になるということを周知して行きたい。

質問

せっかくの助成制度が在るのは有り難いが、事務手続きが面倒で取り組めない地区があると聞く。事務手続きを代行出来る所はないか。

答 畑山農林課長

実際事務手続きが面倒でやれなくなった組織もある。役場が代行することは出来ないため、代行出来る組織があれば有り難い。

# 所管事務調査

## 総務常任委員会 所管事務調査

10月12日実施

調査内容

- ひばり野サッカー場  
管理棟
- ひばり野陸上競技場  
管理棟
- 倉石地域振興公社

関係者から現在の管理状況についての説明を受けながら、現地調査を行いました。



陸上競技場管理棟

倉石地域振興公社



### ●総務常任委員会(6人)

総務、税務、教育及び選挙に関する事務並びに他の常任委員会の所管に属しない事務を所管します。

- 委員長 松山 泰治
- 副委員長 沢田 良一
- 委員 鈴木 隆也
- 委員 高山 浩司
- 委員 尾形 裕之
- 委員 柏田 雅俊
- 昨年度の調査実績
- 旧又重小学校
- 空き家の実態
- 旧豊間内小学校

## 経済常任委員会 所管事務調査

10月14日実施

調査内容

- 五戸川
- 浅水川
- 五戸川魚道
- 天満下土地改良区  
頭首工

関係者から現在の状況についての説明を受けながら、現地調査を行いました。



浅水川

五戸川蛇川の魚道



### ●経済常任委員会(6人)

産業経済、土木建設に関する事務を所管します。

- 委員長 大沢 義之
- 副委員長 三浦 俊哉
- 委員 大久保 和夫
- 委員 豊田 孝夫
- 委員 大久保 均
- 委員 三浦 專治郎
- 昨年度の調査実績
- 県道五戸六戸線  
「盛立地区」
- 国道454号  
「豊間内地区」

## 民生常任委員会 所管事務調査

10月17日実施

調査内容

- 五戸消防署建設予定地
- 五戸総合病院

関係者から現在の管理運営状況についての説明を受けながら、現地調査を行いました。



五戸消防署建設予定地

五戸総合病院



### ●民生常任委員会(6人)

社会福祉、消防、上下水道、総合病院、国民健康保険、高齢者医療及び介護保険に関する事務を所管します。

- 委員長 古田 陸夫
- 副委員長 川村 浩昭
- 委員 川崎 七洋
- 委員 若宮 佳一
- 委員 和田 寛司
- 委員 大沢 博
- 昨年度の調査実績
- ひばり保育園
- 特養「ひだまり」
- 特養「素心苑」

## 議会改革研修会

平成28年8月5日、当町議会はさらなる改革を推進するため研修を行い、議員16人が参加しました。

内 容  
「五戸町議会改革について」  
講 師

青森中央学院大学  
経営法学部准教授

佐藤 淳 氏



議員定数・報酬の議論には正解は無い。大事なものは定数・報酬を導き出すプロセス。

## 新人議員研修会



平成28年8月23日、青森市において新人議員研修会が開催され、議員4人が参加しました。

内 容

「議会の使命に伝えるために、発言の仕方、効果的な一般質問」

講 師

新潟県立大学国際地域学部  
国際地域学科学科准教授

田口 一博 氏

## 県下町村議会 議員研修会

平成28年7月14日、青森市において県下町村議会議員研修会が開催され、議員18人が参加しました。

講 演

「これからの政局・政治動向」

講 師

テレビ朝日コメンテーター

川村 晃司 氏



## 編集後記

最近めっきり寒くなり、季節はもうすっかり秋となりました。読書の秋、スポーツの秋といろいろな呼び方がありますが、私は各学校の文化祭や学習発表会に参加させていただき、とりわけ芸術の秋を感じて過しております。

さて、この学習発表会ですが、私が子供のころは『学芸会』と呼ばれていました。『芸』とは『修練して身につけた技能、学問』のこと。発表会で学生の皆さんが見せているのは自己表現の技であり、その技は学問が下地にないとできません。学生の皆さんが日々きちんと勉強しているからこそ、あれだけのことができるのだなど、感心してしまっていました。

芸は身を助けるという言葉もあります。日々の勉強は怠らないよう、大人の我々も励んでまいりましょう。

委員 川崎 七洋

## 広報常任委員会

委員長 高山 浩司  
副委員長 豊田 孝夫  
委員 川崎 七洋  
委員 鈴木 隆也  
委員 大久保 均  
委員 若宮 佳一  
委員 三浦 俊哉

次回の広報は、  
平成29年2月  
発行予定です。

## 議会を傍聴してみませんか

12月定例会は12月8日開催予定です。  
詳しくは議会事務局まで

**TEL 62-2111 (代表)**

日程が決まりしだい「五戸ちゃんねる」  
五戸町ホームページでもお知らせします。